

第3次加賀市社会福祉協議会 地域福祉活動計画 2021

スローガン

「みんなで仲良く つながろう 愛あるきずな」



令和3年4月



社会福祉法人 加賀市社会福祉協議会

目 次

○地域福祉活動計画の策定にあたって	1
地域福祉とは 地域福祉活動計画とは 計画の位置づけ	1
計画期間 地域福祉推進の考え方	2
○実施事業体系図	3
○基本目標1「主体的な住民参加によるまちづくり」	4
方策Ⅰ「地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成」	5
方策Ⅱ「地域住民の交流促進」	6
○基本目標2「手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり」	7
方策Ⅰ「地域見守り支えあいネットワークの推進と地区との連携強化」	8
方策Ⅱ「多様な団体との連携強化」	9
○基本目標3「健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり」	10
方策Ⅰ「相談体制の充実」	11
方策Ⅱ「権利擁護事業・成年後見制度の利用促進」	12
○資料「第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価について」	13
第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票	14～28

地域福祉活動計画の策定にあたって

◆地域福祉とは

「地域福祉」とは、それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

◆地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

◆計画の位置づけ

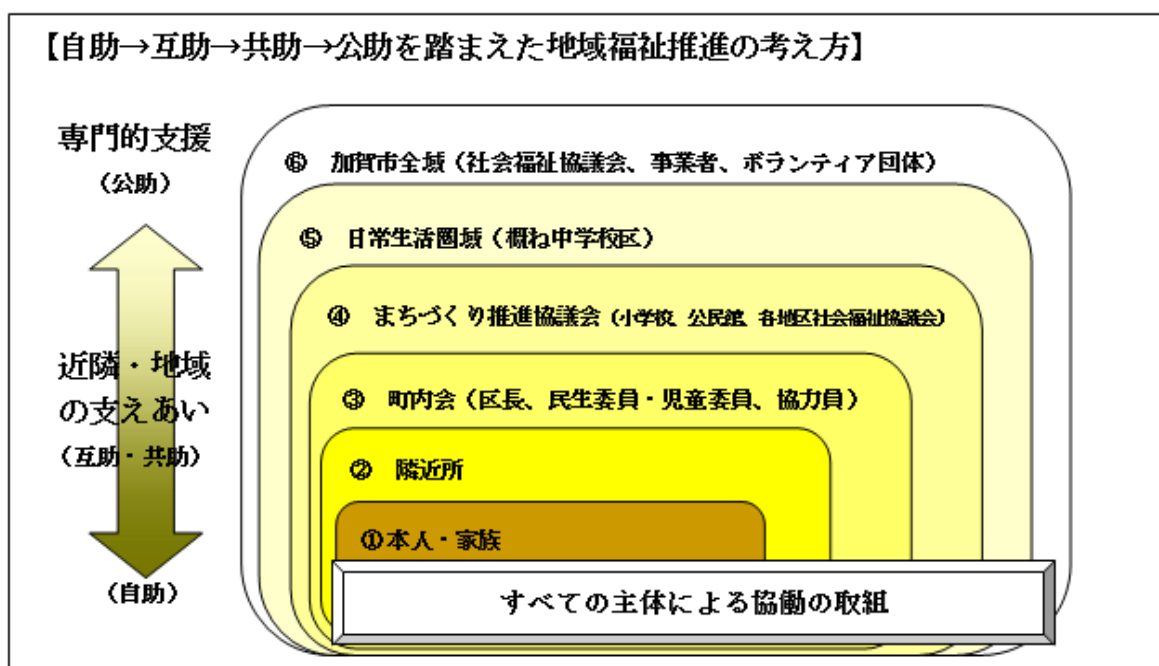
この地域福祉活動計画は、地域福祉活動の基本的な考え方や目標、課題を明確にするとともに、令和2年4月に加賀市が策定した「第4期加賀市地域福祉計画」（福祉こころまちプラン2020）との整合性を図りながら、市民参加による支え合いの地域づくりを推進するための方策を示します。

◆計画期間

計画の期間は、2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）までの5年間とし、第4期加賀市地域福祉計画との整合性を図りながら、長期的な視野に立った計画として策定します。

◆地域福祉推進の考え方

『ともに支えあう健康で心豊かなまちづくり』を基本理念として、地域での支えあいの強化を推進していきます。地域で互助・共助意識の醸成を図り、自らが主体として参画し地域に関わりを持つことで、生きがいを持てる心豊かな共生社会の実現を目指します。



（加賀市福祉こころまちプラン2020より）

実施事業体系図

【基本目標】

【方策】

【実施目標】

基本目標 1

主体的な住民参加によるまちづくり

I 地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成

地域の福祉を応援する人づくり

II 地域住民の交流促進

社会参加の機会をつくる

基本目標 2

手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり

I 地域見守り支えあいネットワークの推進と地区との連携強化

地域とのつながりの強化と活動への支援

II 多様な団体との連携強化

地域の企業、団体等による社会貢献活動への参加の呼びかけ

基本目標 3

健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり

I 相談体制の充実

社会福祉協議会内にある相談窓口の強化

II 権利擁護事業・成年後見制度の利用促進

権利擁護制度の周知及び、かが成年後見センターほっこり体制強化

基本目標 1	主体的な住民参加によるまちづくり
--------	------------------

【方策Ⅰ】

地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成

【実施目標】

○地域の福祉を応援する人づくり

地域の課題に沿って、地域福祉活動の担い手（福祉協力員、後見支援員、サロン等の世話人等のボランティア）を育成し、活動の機会を作る。

【方策Ⅱ】

地域住民の交流促進

【実施目標】

○社会参加の機会をつくる

地域住民が、それぞれの立場で参加できる「場」や「機会」をつくり、交流を促進する。

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	主体的な住民参加によるまちづくり	実施 年 度	3	
方策	地域の福祉に関する学びの機会の充実と地域福祉活動の担い手育成		4	
			5	
			6	
			7	
実施目標	地域の福祉を応援する人づくり			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	1 学びの機会をつくる ①地域の課題について話し合う (地区座談会、地域福祉部会、児童部会等) ②課題に合わせた学習の機会をつくる (ボランティア講座、見守り講座、防災講座、成年後見制度講座等) 2 活動の機会づくり (地域見守り支えあいネットワーク、高齢者おたっしやサークル、障がい者スポーツ大会、地域の福祉施設等) 3 地域の福祉活動の担い手育成と支援 ①民生委員児童委員②福祉協力員③後見支援員④サロン等の世話人 ⑤ボランティア			
実施社協	市社協・地区社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況				
評価委員 の意見				

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	主体的な住民参加によるまちづくり	実施 年 度	3	
方策	地域住民の交流促進		4	
			5	
			6	
			7	
実施目標	社会参加の機会をつくる			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	1 高齢者の社会参加 ふれあいいきいきサロンや老人福祉センターの活用を行う 2 障がいがある方の社会参加 ①事業をととして、身体障害者福祉協会等、団体と連携する ②地域活動支援センターや就労継続支援B型施設の事業内容を 検討し、参加しやすい場づくりを行う 3 子どもの社会参加 ①児童センター等を活用し、子どもの居場所づくりの検討 ②子どもが楽しみながら学べる場づくりを行う（マネプラン講座（仮）など） 4 人と人とのつながりの機会を作る取り組みの検討 （ふれあいの機会づくり）			
実施社協	市社協	委員評価		
事務局評価 （評価日） 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況				
評価委員 の意見				

基本目標 2	手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり
--------	---------------------

【方策Ⅰ】

地域見守り支えあいネットワークの推進と地区との連携強化

【実施目標】

○地域とのつながりの強化と活動への支援

地区の見守り活動を支援し、地区関係者（区長、民生委員、福祉協力員など）や各種団体（介護サービス事業者、防災団体など）と連携を図る。

【方策Ⅱ】

多様な団体との連携強化

【実施目標】

○地域の企業、団体等による社会貢献活動への参加呼びかけ
市や地区の社会福祉協議会が行う地域福祉活動の必要性を発信し、企業や団体等の社会貢献活動への参加・協力を呼び掛ける。

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり	実施 年 度	3	
方策	地域見守り支えあいネットワークの推進と地区との連携強化		4	
			5	
			6	
			7	
実施目標	地域とのつながりの強化と活動への支援			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①地区社会福祉協議会の活動を支援し、地区ごとの課題に基づいて、各地区での見守り活動計画を地区と協働でつくる ②見守り活動計画に基づき、地区座談会を地区と協働で開催する ③要支援者について、地区関係者（区長、民生委員、福祉協力員等）との共有を図る ④「避難行動要支援者名簿」への登録が必要な方に勧奨し、登録者を増やす（登録者の割合） ⑤介護サービス事業者や防災団体等と情報共有、連携を図る（地区座談会、地区防災対策、災害時の対応等について）			
実施社協	市社協・地区社協	委員評価		
事務局評価 (評価日) 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況				
評価委員 の意見				

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	手をつなぎ、みんなで支えあうまちづくり	実施 年 度	3	
方策	多様な団体との連携強化		4	
			5	
			6	
			7	
実施目標	地域の企業、団体等による社会貢献活動への参加の呼びかけ			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①市社会福祉協議会賛助会員等を増やす ②地区社会福祉協議会「支えあい寄付金」への寄付の呼びかけ、財源の確保 ③事業を通じた企業、団体等の協賛の呼びかけ （各種イベント、フードドライブ等） ④共同募金委員会との連携（募金活動の協力、助成金の活用） ⑤地区と企業、団体等と災害時の協力について検討し、マニュアルを作成する ⑥企業や団体等の社会貢献活動について、様々な媒体を通して発信、紹介できる体制を整える （福祉施設、地域団体等との連携の促進）			
実施社協	市社協	委員評価		
事務局評価 （評価日） 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況				
評価委員 の意見				

基本目標 3	健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり
--------	-----------------------

【方策Ⅰ】

相談体制の充実

【実施目標】

○社会福祉協議会内にある相談窓口の強化

社会福祉協議会内にある相談機能を整理し、地域や関係機関との連携を図る。

【方策Ⅱ】

権利擁護事業・成年後見制度の利用促進

【実施目標】

○権利擁護事業・成年後見制度の周知及びかが成年後見センターほっこり体制強化

権利擁護の必要性を周知し、推進する機関としての体制強化を図る。また、成年後見制度を利用する方の支援も行う。

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり		実施 年 度	3	
方策	相談体制の充実	4			
		5			
		6			
		7			
実施目標	社会福祉協議会内にある相談窓口の強化				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①社会福祉協議会内の相談内容共有と連携を図る （ボランティア相談、自立支援相談、かが成年後見センターほっこり相談、生活福祉資金貸付相談、地域からの相談等） ②行政機関・民生委員児童委員協議会・保護司会・NPO等との連携を図り、課題解決に努める （経済的な生活困窮について、関係機関等と横断的な相談支援を行う）				
実施社協	市社協		委員評価		
事務局評価 （評価日） 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況					
評価委員 の意見					

第3次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

基本目標	健やかで、安心できる生活しやすい体制づくり		実施 年 度	3	
方策	権利擁護事業・成年後見制度の利用促進	4			
		5			
		6			
		7			
実施目標	権利擁護事業・成年後見制度の周知及びかが成年後見センターほっこり体制強化				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①PR研修会を開催 ②相談員・後見支援員の確保のための取り組み ③成年後見制度申立て支援 ④成年後見制度を利用する方の積極的受任 （中核機関として成年後見制度推進に努める）				
実施社協	市社協		委員評価		
事務局評価 （評価日） 令和 年 月 日	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった		
実践状況					
評価委員 の意見					

資 料

第2次加賀市社会福祉協議会 地域福祉活動計画評価について

※「第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動
計画目標」について、5名の評価委員の方に評
価いただきました。

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進		実施 年 度	28	○
				29	○
方策	地区社協の支援			30	○
				31	○
実施目標	市内282全町の地域見守り支えあいネットワークの実施状況を把握します				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 市社協内で職員の地区担当制を敷き活動する ② 最終目標を各町単位で自主的な活動とする ③ 各地区の見守り計画を作る				
実施社協	市社協、地区社協		委員評価		人数
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	① 目標達成できた		1. 目標達成できた		3
	2. 一部達成できた		2. 一部達成できた		2
	3. 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		0
実践状況	① 職員4名で地区担当制を敷き、地区見守り計画と一緒に作成している ② 地区社協を通じた座談会で、17地区183町の参加があり情報共有を行い、自主的な活動として地域で生かしてもらえる場の提供ができた ③ 毎年度末に“ききとり訪問”という名称で地区訪問し、翌年度の取り組みなどを話し合っている 実績 H28 15地区、H29 14地区、H30 12地区、 H31 11地区 (R2.3以降コロナで中止)				
評価委員 の意見	○各地区の状況を分析して、地区ごとに活動方針を定めて進めているのはよい。新型コロナウイルスの時代が続きますので、地区活動が難しくなる。市社協の考えをまとめるべき。 ○地区担当制を敷き、地区で見守り計画と一緒に作成していることは、それぞれの地区において安心できる。 ○聞き取り訪問も17地区で行われ、毎年度、各地区の見守り計画が作成できるとよい。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進		実施 年 度	28	○
				29	○
方策	要支援者の把握方法			30	○
				31	○
実施目標	「地域見守り支えあいネットワーク」登録者数を、平成31年度3,600人とする				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 民生委員児童委員の日常時の活動から把握する ② 安心カード希望者から把握する ③ 地区座談会で把握する ④ 介護サービス事業者と連携し把握する				
実施社協	市社協、地区社協		委員評価		人数
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた		1. 目標達成できた		1
	②一部達成できた		2. 一部達成できた		3
	3. 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		1
実践状況	① 要支援者名簿を民生委員に配布し、安心カードと一緒に見守り活動に努めている ② 地区座談会で、民生委員、区長、福祉協力員が情報の共有ができた ③ 介護サービス事業者にも地区座談会参加を依頼し、民生委員とのコミュニケーションを図った ④ 要支援者名簿登録者数はH28 3,018人、H29 2,927人H30 2,766人、H31 2,645人				
評価委員 の意見	○障がい者の対応が充分ではなかった。訪問活動が難しい点もあるが。 ○要支援者名簿を配布し、安心カードと一緒に見守り活動に協力していただけることは、地区にとって安心だと思う。民生委員、区長、福祉協力員の情報の共有に、やや欠けていると思う。 ○介護サービス事業者の地区座談会参加は、要支援者を把握するには、よい取り組み方法だと思う。民生委員と事業者と顔が見える関係を築くこと。要支援者名簿登録者の年々減少が気になる。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進		実施年度	28	○
				29	○
方策	要援護者の情報共有の方法			30	○
				31	○
実施目標	「避難行動要支援者名簿」の配布（町内会との協定締結件数）を、平成31年度までに全町に配布する				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 地区座談会を小単位で開催する ② 地区社協で名簿を管理する ③ 見守り推進会構成団体に協力要請する				
実施社協	市社協、地区社協		委員評価		人数
事務局評価 （評価日）	1. 目標達成できた		1. 目標達成できた		1
R2年	② 一部達成できた		2. 一部達成できた		3
9月29日	3. 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		1
実践状況	① 地区単位での座談会開催のほか、山代温泉の一部で、民生委員の担当区域単位で座談会を実施した ② 名簿は12地区社協が加賀市と協定を締結し管理している。町内は282町の中で10町とは協定を未締結 ① 見守り推進会構成団体の、防災協議会、防災士会、防災リーダー会などとは、具体的に活動できなかった				
評価委員 の意見	○各町の区長と名簿を共有できていること。 ○全町内が加賀市と協定を締結し管理していけるとよいと思う。 ○災害時等において、情報把握は民生委員だけでなく、町内会での把握は不可欠であるので、10町との早期締結が望まれます。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	「地域見守り支えあいネットワーク」の充実と促進		実施 年 度	28	○
方策	要支援者の支援に関する事項	29		○	
		30		○	
		31		○	
実施目標	地域にある福祉施設や介護保険事業者、防災団体と連携を図り、全地区で活動に参画してもらう				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 介護サービス事業者の地区座談会への参加を呼びかけます ② 福祉施設等の見学会を開催します ③ 障がい者などの支援を必要とする人との交流会を開催します ④ 防災団体と連携を図ります				
実施社協	市社協、地区社協	委員評価		人数	
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	① 目標達成できた	1. 目標達成できた		4	
	2. 一部達成できた	2. 一部達成できた		1	
	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった		0	
実践状況	① 介護サービス事業者に地区座談会に参加いただいた。 ② H29 4施設見学、地区社協で訪問した所あり ③ 意見交換会よろしくトークや障がい者スポーツ大会、レクリエーション交流会などを開催し、民生委員、ボランティアグループ、児童センターなどと交流を図った ④ 市防災協議会に災害ボランティアコーディネーター連絡会事務局として参加し連携を図った				
評価委員 の意見	○介護サービスの事業者に、座談会に多く参加いただけた方がよかったと思う。「よろしくトーク」や「障がい者スポーツ大会」等をとおり、民生委員、ボランティアグループ、児童センター等交流を図ることはよいことと思うので続けてほしい。 ○概ね達成できていると思う。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	生活困窮者支援体制の整備	実施 年 度	28	○
			29	○
方策	要支援者の把握方法		30	○
			31	○
実施目標	就労、困窮脱却者数を、平成31年度20件とする			
実施方法	① 生活保護、子育て支援、乳幼児相談、就学相談、就労相談など、市役所関係分野、ハローワーク、NPO等と連絡を密にし、最善策を見出す			
並びに 具体的 取り組み	② 本人の就労意欲を引き出し、就職できるよう導く ③ 支援調整会議の開催 ④ 関係機関が集まりケース会議等の開催			
実施社協	市社協	委員評価	人数	
事務局評価 (評価日)	① 目標達成できた	1. 目標達成できた	5	
R2年	2. 一部達成できた	2. 一部達成できた	0	
9月29日	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	0	
実践状況	① 地域福祉課（生活保護担当）、ふれあい福祉課、子育て支援課などと密に連絡を取り合い、連携を図った ② 就労意欲を引き出せるよう、話を聞き、ハローワーク同行など行い、就職できるよう導いた ③ 定期的に支援調整会議（生活困窮者支援関係者との会議）開催した ④ 必要に応じ、関係機関が集まり、ケース会議を開催あるいは参加し、自立支援できるよう取り組んだ ⑤ 平成31年度終結（支援終了）件数 23件			
評価委員 の意見	○就労意欲を引き出せるよう、話を聞いたり、ハローワークに同行などを行い、就職できるよう導かれたことは大変よいと思うので、より多くの方が働く意欲を持てるようお願いしたい。 ○調整会議、ケース会議の開催により、各関係機関において、密に課題の共有ができることにより、支援終了23件に繋がる取組だと思う。			

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	生活困窮者支援体制の整備		実施 年度	28	○
方策	こどもの生活支援			29	○
				30	○
				31	○
実施目標	貧困の連鎖を防ぐためこども世帯に対しての支援する				
実施方法	① 出産から高校卒業まで必要な品物を、市民へ寄付を呼びかけ希望に沿うような仕組みを作ります				
並びに	② 教育委員会やNPO等と連携して小・中学生の学習支援に取り組みます				
具体的 取り組み					
実施社協	市社協		委員評価		人数
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた		1. 目標達成できた		0
	②一部達成できた		2. 一部達成できた		5
	3. 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		0
実践状況	① 相談者のニーズに応じて対応している。近年小学校入学する子がいる困窮世帯へ、ランドセルを寄贈される団体と調整し届けた H28 1個、H29 5個、H30 0個、H31 3個 ② H28, H29年度は市社協で実施。教育委員会が全中学校区で学習支援を開始したため、2か所の児童センターで実施する				
評価委員 の意見	○ランドセルだけでなく、必要な品物が何なのかよく聞いて、希望に沿うものを届けてほしい。 ○ランドセル寄贈は、毎年0～5個になっているが、困窮世帯はもっと多くあるのではないかと思います。相談者のみに限らない対策も必要かと思ひます。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	生活困窮者支援体制の整備	実施 年 度	28	○
			29	○
方策	必要と思われる事業の検討		30	○
			31	○
実施目標	困窮状態からの脱却をめざし、必要な事業を検討します			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①フードバンクの開設 ・食べるものがない人へ市民や企業から募った食料を備蓄し配布できる仕組みを検討します ②家計支援 ・お金の管理がうまくできない人を対象に家計簿をつけるなどして自ら家計管理できないか検討します			
実施社協	市社協	委員評価	人数	
事務局評価 (評価日)	①.目標達成できた	1. 目標達成できた	4	
R2年	2. 一部達成できた	2. 一部達成できた	1	
9月29日	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	0	
実践状況	① H29に民生委員児童委員協議会協力のもと、フードドライブ実施 H30 23件、H31 36件配布 ② H30いしかわフードバンク・ネットに加入し、定期的に提供される ③ 家計簿をつける人はいなかったが、家計改善のため債務整理や支出の見直しなどの支援を行った H28 2件、H29 3件、H30 6件、H31 12件			
評価委員 の意見	○家計改善のための債務整理や支出の見直しなど支援をしてほしい。 ○フードバンクはよい取組だと思うので、もっと広く周知できればと思う。			

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	地域における生活支援体制の促進		実施 年 度	28	○
				29	○
方策	福祉人材の育成			30	○
				31	○
実施目標	福祉協力員数を、平成31年度450人にする				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	関係団体等に推薦の促進をお願いします ・民生委員児童委員に依頼 ・地区区長会に依頼 ・地区座談会で説明し、理解者を増やします				
実施社協	市社協、地区社協		委員評価		人数
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた		1. 目標達成できた		0
	2. 一部達成できた		2. 一部達成できた		2
	③ 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		3
実践状況	H28 349人(135町)、H29 364人(133町)、 H30 359人(134町)、H31 348人(138町) 人数設置町数とも毎年増減がある				
評価委員 の意見	○福祉協力員を設置した目的は、民生児童委員の活動が各町に推進できるように、応援することで協力員の人数の問題ではない。 ○各地区において、福祉協力員になっていただける人が少ないように思う。民生委員、区長さんだけに頼るのではなく、どうすればよいか考えていく必要があると思う。 ○福祉協力員の増員は必要ですが、名前だけの協力員ではなく、活動内容を理解して、活動する人を増やすことが望ましいので、地区座談会を利用し、理解者(人材)育成の取組みはよい方法に思えます。協力員の研修も必要だと思う。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	地域における生活支援体制の促進	実施 年 度	28	○																																			
			29	○																																			
方策	福祉人材の育成		30	○																																			
			31	○																																			
実施目標	ボランティア体験等の開催回数を、平成31年度49回にする																																						
実施方法	▶ 福祉に関心を持ってもらう機会を作る ① ボランティア体験 ・やさしいまちづくり教室 ・ジュニアボランティア体験 ② 障がい者理解の研修 ・障がい者との意見交換会 よろしくトーク ・障害福祉ボランティア講座 ③ 地区社協主催の研修 ・認知症講座 ・福祉ボランティア講座																																						
並びに																																							
具体的																																							
取り組み																																							
実施社協	市社協、地区社協	委員評価	人数																																				
事務局評価 (評価日)	1. 目標達成できた	1. 目標達成できた	0																																				
R2年	② 一部達成できた	2. 一部達成できた	1																																				
9月29日	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	4																																				
実践状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>やさまち 教室</th> <th>ジュニア V</th> <th>よろしく トーク</th> <th>障がい者 S説明会</th> <th>災害ボラ 研修</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>27</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> やさしいまちづくり教室の開催回数が減り、地区社協主催の研修も開催できなかった。しかし、地区座談会で、短時間であるが、防災、認知症理解、障がい者理解、消費者トラブルの研修などを実施					やさまち 教室	ジュニア V	よろしく トーク	障がい者 S説明会	災害ボラ 研修	合計	H28	27	3	1	1	1	33	H29	19	2	1	1	1	24	H30	12	2	1	1	0	16	H31	13	2	0	1	1	17
	やさまち 教室	ジュニア V	よろしく トーク	障がい者 S説明会	災害ボラ 研修	合計																																	
H28	27	3	1	1	1	33																																	
H29	19	2	1	1	1	24																																	
H30	12	2	1	1	0	16																																	
H31	13	2	0	1	1	17																																	
評価委員 の意見	○ボランティア体験や研修の提供は必要ですが、座談会等の機会により、関心、理解を得る取組みはよい方法だと思う。																																						

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	地域における生活支援体制の促進	実施 年 度	28	○
			29	○
方策	福祉人材が活動出来る場づくり		30	○
			31	○
実施目標	見守り座談会の開催回数を、平成31年度68回にする			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 地区社協単位で開催 ② 小地域で開催 ・町内単位 ・民生委員単位			
実施社協	市社協、地区社協	委員評価	人数	
事務局評価 (評価日)	1. 目標達成できた	1. 目標達成できた	0	
R2年	2. 一部達成できた	2. 一部達成できた	1	
9月29日	③ 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	4	
実践状況	① 地区社協から区長会、民生委員、福祉協力員に案内し、市社協から介護サービス事業所等へ参加を呼びかけ地区座談会および見守り説明を開催した H28 41回、H29 42回、H30 41回、H31 35回 ② 山代地区で民生委員単位で開催できた			
評価委員 の意見	○新型コロナウイルスのため、各地区の会合を中止しなければならなかったためであった。今後の活動方針を検討すべき。 ○地区社協から区長会、民生委員、福祉協力員に呼びかけ、説明会を開催されているわりには、みなさんにあまり浸透していないように思う。 ○小地域での開催は、町内、民生委員でお互い細かな情報の共有ができよい活動です。見守り座談会が毎年減少していますが、実施目標に達するよう望まれます。			

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	地域における生活支援体制の促進	実施 年 度	28	○																																			
			29	○																																			
方策	福祉人材が活動出来る場づくり		30	○																																			
			31	○																																			
実施目標	地域活動に参加しやすくなるよう、活動できる場所を増やす																																						
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 地域で行っている活動に参加する ・地域見守り支援あいネットワーク ・高齢者のサロン ・おたっしやサークル ・傾聴ボランティア ② 魅力あるものとするため、地区社協が介護支援ボランティアポイント付与事業者となるよう検討する																																						
実施社協	市社協、地区社協	委員評価	人数																																				
事務局評価 (評価日)	1. 目標達成できた	1. 目標達成できた	0																																				
R2年	② 一部達成できた	2. 一部達成できた	5																																				
9月29日	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	0																																				
実践状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>おたっしや サークル</th> <th>サロン型</th> <th>支援型</th> <th>見守りネッ トワーク</th> <th>傾聴ボラン ティア紹介</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>51</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>52</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>49</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>48</td> <td>31</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> ① サロンなどは伸びており地区での活動者が増えた ② 子どもたちのボランティア意識醸成として、山中地区ではボランティア銀行を創設し、地域の協力のもと独自に活動展開している					おたっしや サークル	サロン型	支援型	見守りネッ トワーク	傾聴ボラン ティア紹介	合計	H28	51	15	2	17	4	89	H29	52	23	2	17	4	98	H30	49	25	2	17	7	100	H31	48	31	2	17	13	111
	おたっしや サークル	サロン型	支援型	見守りネッ トワーク	傾聴ボラン ティア紹介	合計																																	
H28	51	15	2	17	4	89																																	
H29	52	23	2	17	4	98																																	
H30	49	25	2	17	7	100																																	
H31	48	31	2	17	13	111																																	
評価委員 の意見	○高齢者のサロンは大変喜ばれていたのですが、コロナ禍のため、ほとんど中止となっている。地区社協として何かできないか考え、それぞれに指導アドバイスをしてほしい。 ○子どもたちが参加できる場所づくりとボランティア意識醸成。山中地区の活動はよい取組だと思う。																																						

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	地域における生活支援体制の促進		実施 年 度	28	○
				29	○
方策	地域福祉を支える資金や物品の寄付を募ります			30	○
				31	○
実施目標	地域の福祉の現状を地元にある企業等に呼びかけて、金品の寄付をお願いし、社会貢献活動に参加していただく				
実施方法 並びに 具体的 取り組み	①社協賛助会費等を増やす ②寄付金を募る ③企業の扱う製品の提供を呼びかける ④共同募金委員会と連携する				
実施社協	市社協、地区社協		委員評価		人数
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた		1. 目標達成できた		0
	②一部達成できた		2. 一部達成できた		4
	3. 目標達成できなかった		3. 目標達成できなかった		1
実践状況	① 過去に賛助会費をいただいた企業等に案内をし募った H28 598,000円、H29 556,000円、H30 575,000円 H31 557,000円 ② H31地区社協活動助成金となる ささえあい寄付金を創設した ③ 障がい者スポーツ大会、共同募金パートナーズフォーラムなどのイベントに際して、数社より製品を提供いただくなど協賛をいただいている ④ 共同募金委員会が行っている募金百貨店プロジェクトに、市内9つの企業等が登録している				
評価委員 の意見	○現在は、一部企業の参画となっていますが、もっと多くの企業に呼びかければ協力が増えるのではないのでしょうか。				

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	成年後見制度の相談体制の促進	実施 年 度	28	○																									
			29	○																									
方策	幅広い相談対応と周知活動		30	○																									
			31	○																									
実施目標	成年後見制度に関する相談数を、平成31年度800件にする																												
実施方法 並びに 具体的 取り組み	判断能力が低下した高齢者や、障がいのある人の地域での生活を支え、その権利を擁護する制度を周知します ① PR研修の開催 ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ ・介護サービス事業者 ② ホームページの充実																												
実施社協	市社協、地区社協	委員評価	人数																										
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	① 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	1. 目標達成できた 2. 一部達成できた 3. 目標達成できなかった	5 0 0																										
実践状況	① 民生委員、介護サービス事業者と内容も見直し検討し実施できたのが良かった。相談件数は大幅に増えた ② ホームページの内容を随時更新までは行えなかったが、今後は家庭裁判所などとリンクできると良い <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>PR 研修</th> <th>出前講座など</th> <th>相談件数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2,282</td> <td>2,287</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3,083</td> <td>3,091</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4,018</td> <td>4,025</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3,343</td> <td>3,351</td> </tr> </tbody> </table>					PR 研修	出前講座など	相談件数	合計	H28	3	2	2,282	2,287	H29	5	3	3,083	3,091	H30	3	4	4,018	4,025	H31	4	4	3,343	3,351
	PR 研修	出前講座など	相談件数	合計																									
H28	3	2	2,282	2,287																									
H29	5	3	3,083	3,091																									
H30	3	4	4,018	4,025																									
H31	4	4	3,343	3,351																									
評価委員 の意見	○PR研修の開催は周知活動において、有効な手段であり、相談件数の増大に繋がるよい活動である。 ○各関係機関との情報共有																												

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	成年後見制度の相談体制の促進	実施 年 度	28	○										
			29	○										
			30	○										
			31	○										
方策	幅広い相談対応と周知活動													
実施目標	申立て支援件数を、平成31年度6件にする													
実施方法	① 協力機関（弁護士、司法書士、社会福祉士会、精神保健福祉士会）と連絡を密にします													
並びに	② 市役所関係課と連絡を密にします													
具体的 取り組み														
実施社協	市社協、地区社協	委員評価	人数											
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた	1. 目標達成できた	0											
	② 一部達成できた	2. 一部達成できた	5											
	3. 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	0											
実践状況	① 申立件数は5件前後で推移している ② PR研修会の企画を司法書士の方々と共同で行うことができた ③ 中核機関に対するビジョンまでは共有できていない <table border="1" data-bbox="1157 1272 1337 1476"> <tr> <th></th> <th>申立件数</th> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>5</td> </tr> </table>					申立件数	H28	8	H29	3	H30	6	H31	5
	申立件数													
H28	8													
H29	3													
H30	6													
H31	5													
評価委員 の意見	○親族がいる場合が多々あると思われるが、それらを鑑みて、この制度を大いに促進してほしい。 													

第2次加賀市社会福祉協議会地域福祉活動計画目標管理票

重点施策	成年後見制度の相談体制の促進	実施 年 度	28	○
			29	○
方策	相談機能の強化		30	○
			31	○
実施目標	かが成年後見センターほっこりの運営体制の強化を図る			
実施方法 並びに 具体的 取り組み	① 専門員の増員 成年後見等の専門意識を有する職員を増やし、相談体制の充実を図る ② 後見支援員の養成並びに増員 被後見人等の日々の業務を直接かかわる後見支援員を増やし、受任体制の充実を図る ③ 運営委員会機能の重視 ④ 成年後見センター事業の評価基準の作成 ⑤ 運営資金の確保 官・民から支援をお願いする			
実施社協	市社協	委員評価	人数	
事務局評価 (評価日) R2年 9月29日	1. 目標達成できた	1. 目標達成できた	0	
	2. 一部達成できた	2. 一部達成できた	0	
	③ 目標達成できなかった	3. 目標達成できなかった	5	
実践状況	① 専門員の増員には至らなかった ② 後見支援員の養成等が行えていない ③ 運営委員会での意見等により令和2年度より中核機関の委託を受けることになり、機能した ④ 評価基準は作成できていない ⑤ 運営資金の確保までには至っていない			
評価委員 の意見	○実践状況を考え、課題の多いことが理解できるが、専門員の増員、支援員の養成等は不可欠だと思う。 ○各専門員を増やすこと			